

かつやま

1月臨時会・3月定例会報告

議会だより

2022.4.28

No.83

特 集	P 2
委員会報告	P 2
代表・一般質問	P 6
審議結果	P14



平泉寺一斉清掃 (4/10、写真左側) と春季消防訓練 (4/13)

陳情を受けてから審査までの流れ

市民団体から中学校再編に関する予算を認めないとする陳情が市議会に提出された。それを受けて、総務文教厚生委員会で議論を交わし、団体代表者から趣旨説明を受けた後、予算委員会でその陳情の審査を行った。予算委員会でも議論を交わし、採決の結果、陳情は不採択となった。

中学校再編案

現在の市立中学校3校を1校に統合し、県立勝山高校の敷地内に新中学校を建設することで、中高を連携させて相乗効果を狙う案。特別教室（理科室や音楽室など）や体育館、グラウンドを高校や周辺施設と共用する併設による中高連携案。

市民団体からの陳情の趣旨

勝山高校の敷地内に新中学校を建設、運営する計画は、高校施設や学校周辺施設を共用することが前提であることから、教育施設としての問題や多感な時期である生徒に与える様々な問題、教職員が教育現場から想定される教育システムの問題など、多様な面からの問題点が考えられる。そのため、中学校再編案を推進する予算を認めないでほしい。

両者の意見は平行線であり、採決の結果、予算委員会では①の議員が多数となった。これに対し、②の議員は陳情の採択を求めて本会議で討論したが、採決の結果、陳情は不採択、予算は可決された。

議論の概要と今後の動き

議員のスタンスは、下記の2つに大別された。(下記表中の内容は大まかな意見)

① 陳情は不採択、予算は可決とする議員

これまで進められ練られてきた再編案を止めることで、これまでの議論が無駄にならねない。

また、調査費が予算で認められれば、より具体的な議論ができる。今後は、中高連携の利点を活かし、想定される問題点は陳情意見などを参考にして良いものにしてほしい。

② 陳情は採択、予算は否決とする議員

市民や元教職員からの問題提起は、再編案の基本にある中高連携の部分が根本である。しかし、理事者は再編案の基本である中高連携案は変えないとしているので、参考にできないのではないかと。

また、福井県高等学校教職員組合から福井県教育委員会に対し、勝山高校敷地に統合中学校を建設する計画は合意形成もなく一方的に進行している状況で、この計画を容認したことは問題であると抗議していることも考慮すべきだ。

予算委員会報告

新年度当初予算を
審査しました

予算委員会では、令和4年度勝山市一般会計予算11.9億2800万円(前年度比4.8%増)、令和3年度勝山市一般会計補正予算、陳情第8号「中学校を勝山高校敷地内に建設することに反対する陳情書」の審査を行い、予算はいずれも可決し、陳情は不採択に決しました。

新年度予算は、「わいわいわくわく安全安心のまちかつやま」の実現を目指して2つの「創る」4つの「守る」のもと、市民が積極的にまちづくりに参加できるように「ここに地域づくり基金」の創設など、今後のまちづくりに意欲的に取り組むものとなっています。

陳情8号については、団体代表者から陳情書の趣旨説明を受け、その後、委員会で議論しました。理事者からは、市民の皆さんからの意見を4月から開催予定の専門部会でしっかり検討し、事業の進捗については議会に適宜説明していくとの答弁がありました。

地域を元気ハツラツとする基金が誕生

地域が主体となってまちの活性化を目指す事業のため、にこにこ地域づくり基金（2億5,250万円）を人口割等によって市内10地区に配分する。なお、基金は令和13年度までの10年間で使用することとしている。

委員：以前、地域力向上事業補助金が配られたが使い方に困り、結局、内容もないまま各区に補助金を分けてしまった地区もある。また同じようになってしまわないか。

理事者：地域の文化継承など、有意義な使い方をした例もある。前回は5年間で使い方にもいろいろ縛りがあったが、今回はある程度自由としている。

子育て支援の充実を図る

保育料に関しては、現在、第3子以降または年収360万円未満相当世帯の第2子を無料にしている。また、2人以上同時入園の場合、2人目を半額、さらに3～5歳児の副食費の免除では、世帯の第3子以降または年収が360万円未満相当世帯を無料にしている。

さらに、令和4年9月から0～2歳児の保育料に関して、世帯収入が640万円未満の方の第2子の保育料無料化にするなど、子育て支援の充実に力を注いだ予算となっている。その他、保育所等のICT化や熱中対策、園舎施設整備等への支援に対する予算も組み入れ、これら子育て支援政策は市議会も応援している。

見ても恐竜！入っても恐竜！

恐竜店舗改修事業補助金として900万円が計上された市の独自事業。お店を恐竜と分かるインパクトのある外装にしたり、恐竜をあしらった設備や備品を配置することに対して助成する。新年度は3件の申請を予定している。

委員からは、改修内容をどこまで求めているかが分かりづらく、要綱や事業内容をかなり精査しなければならない。行政内部、事業者と綿密に打ち合わせを行うべきと示され、理事者からは今回の3件が今後のモデルとなってもらえるよう取り組むとの答弁があった。

勝山ニューホテルを民間に譲渡

理事者から、勝山ニューホテルの民間譲渡の話がまとまったとして、それに関する予算説明があった。内容は主に次の3点。

- ①民間事業者へ建物を無償譲渡し、市有地を6,300万円で売却する。
- ②市の都合で指定管理期間が短くなり、現指定管理者に契約解約金700万円を支払う。
- ③ホテル改修に活用した国の補助金の返還が生じる。(令和9年度までに2,930万9,000円以内)

委員からは、今後の指定管理料や修繕料を市が負担しなくてすむこととなるため、賛同する意見が多く出た。

理事者は、他の観光誘客施設の民間譲渡も進めていきたいとしている。

勝山の玄関に恐竜!?

恐竜ランドマーク設置事業委託料として3000万円が計上された。市民の強い要望から、中部縦貫自動車道勝山ICの出入り口の山壁に恐竜のランドマークを設置する。

委員からは、イメージ図がない状態では判断しかねる、ホワイトザウルスのような立体でなければインパクトに欠けるのではないかなどの意見があがった。

理事者からは、立体は来訪者から見て後ろが見えず考えていないが、プロポーザル方式で募集するデザインにより判断すると述べ、恐竜王国の入り口に相応しいものにする旨を話した。



恐竜ランドマークの設置予定箇所
(恐竜イラスト部分)

常任委員会報告

● 総務文教厚生委員会

◆ 勝山市税条例の一部改正について

子育て世帯の経済的負担軽減の観点から、国・県・市の公費によって、未就学児の均等割保険税を軽減する旨の説明がありました。

委員からは、子育て支援の一環としての事業として理解できるが、中学・高校生までも範囲を伸ばせないかとの意見があり、理事者からは、国や県に要望しているが、さらに粘り強くしていきたい旨の回答がありました。

◆ まちづくり会館の設置及び管理に関する条例の制定について

令和4年度より勝山地区全体の持続的な活性化を目指すまちづくり活動の拠点施設として、8地区のまちづくり会館の提案が提出されました。特徴は利用制限の緩和（地域づくりにつながる有償物販など）や生涯学習以外に福祉、防災、健康など分野を問わず活動できるなどの趣旨説明がありました。

委員からは、地域内のことを自ら決定し、実行する組織と言いながら、地域に任せっきりで丸投

審査の結果、議案38件について全て可決し、陳情2件を不採択としました。

げの感がある。実質活動できるか不安等の意見があり、理事者からは、運営は市直営で今までどおりで、人的サポートも行うので安心してほしいとの回答がありました。

◆ 中学校を勝山高校敷地内に建設することに反対する陳情書について

陳情書の趣旨が予算に関するもので付託先は予算委員会ですが、これまで中学校再編については当委員会で議論してきたため、陳情の予備審査という形で行いました。

本定例会では、6人の議員から中学校再編について一般質問があり、いろいろな議論がありましたので、①県教育委員会からの本計画（案）に対する意見についての回答、②全国における県立高校・市町立中学校併設事例、③秋田市御所野学院についての3点について説明を求めました。

委員からは、県教委とのやり取りや併設・連携の意味等の意見があり、理事者からは、書面回答や説明会等でこれまでも説明してきた本計画（案）の併設、連携の意味の説明がありました。

● 建設産業委員会

審査の結果、議案 25 件について全て可決し、陳情 1 件を採択、1 件を不採択としました。

◆ 令和 4 年度勝山市下水道事業特別会計予算

理事者から、新規事業として下水道使用料のコンビニ納付に対応したシステム改修費や法定耐用年数を経過する下水管渠更新のための現状調査業務委託料などが計上されているとの説明がありました。

委員からは、三谷川流域浸水対策事業の進捗に関する質問や公共下水道施設の老朽化対策に関する意見などがあり、理事者から現状について説明を受けました。

◆ 水田活用の直接支払い交付金の見直しの中止を求める陳情について

委員からは、国の減反政策に应运ってきた農家を助けるためにも、陳情内容に理解を示すべきとの意見もありましたが、他の委員から、それには転作に対する補助の拡充を求めていくべきであり、5 年間、一度も稲作を行わなかった水田を「水田活用の直接支払い交付金」の支給対象から外すことは理解できるとする意見が多くあり、採決の結果、不採択とすることに決しました。

● 議会改革特別委員会

勝山市議会議員の定数を次の選挙から 2 人削減して 14 人とすることにしました。

議員定数については、議会自らが判断して決定すべきものであることは議員全員の共通した認識で、また前期の議会から定数の削減については改めて協議することが申し送り事項となっていました。

これを受けて、令和元年 9 月に本特別委員会を設置し、これまで議員定数について慎重に協議を続けてきました。

当初は市民団体との対話から進めたいとしていたところ、新型コロナウイルスの影響によりほとんど実施できない状況の中、一部団体からの意見も参考に協議を続けた結果、主たる意見は下記の 5 案に集約されました。

その後、今年 2 月の委員会において、賛成多数で定数を削減することを決定し、削減人数については勝山市の財政や人口、県内他市や全国の類似団体と人口が同規模自治体の定数、標準財政規模の推移、全国における人口最小市の定数等の数値などを複合的に考慮し、さらに現在の社会情勢、想定される今後の勝山市の状況や市民の意見なども加味するとともに、勝山市が県内 9 市では最小の人口数であることも踏まえ、さらに協議を進めました。

そして、3 月定例会における委員会において委員の意見調整と集約をした結果、4 分の 3 以上の賛成を得て、勝山市議会議員の定数を次の選挙から 2 人削減し、14 人とする結論となりました。

今後は、議員定数を改正する条例案を令和 4 年 6 月定例会に提出する予定です。

- ① 2 人削減する
- ② 2 人程度削減すべきだが時期が適当でない
- ③ 1 人削減し、将来的にもう 1 人削減する
- ④ 現状を維持する
- ⑤ 増やす

総合計画特別委員会

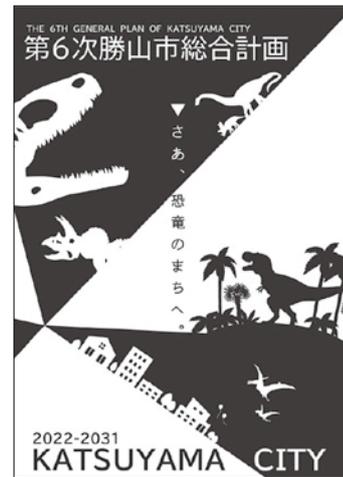
審査の結果、議案第81号「第6次勝山市総合計画の策定について」を可決しました。

本特別委員会は、令和2年12月に設置し、これまで8回委員会を開催し、第6次勝山市総合計画の策定に関する事項について理事者から詳細な説明を受けて、議論、協議、提案を行ってきました。

令和4年3月定例会において、議案として第6次勝山市総合計画案が示され、本特別委員会において慎重に審査しました。

委員からは、本計画策定後、勝山市市民憲章を市民の皆様が身近に感じるよう活用していくことへの希望や今後も勝山市の素晴らしい教育や自然環境など、他に秀でた魅力やポテンシャルを活かした政策を進め、それがSDGsの達成にもつながっていきけるよう、勝山らしさを基本にしたまちづくりを期待する等の意見がありました。

これに対して理事者からは、総合計画策定後も市民意見交換会を行い、政策推進に関する市民の意見を聴取し、議会にも進捗状況を報告しながら柔軟に進めていきたいとの答弁がありました。



代表質問 議・議員／理・理事者

○令和4年度当初予算案について ○まちなかの活性化について

その他の質問

- ・「まちづくり会館」について
- ・中学校再編について

新風会・公明
竹内和順
議員



議 水上市政が誕生し、初めての市長の思いが十分詰まった新年度予算編成になっているものと期待している。

市の最上位の計画である「第6次勝山市総合計画」も新年度よりスタートし、本計画に基づいて予算要求がなされたものと考えているが、当初予算編成方針と重点事項を伺う。

理 最も大切な根幹の政策は、人口減少、少子高齢化、人口構成の変化対応を意識することと考える。

第6次勝山市総合計画との関係では、「地域の未来を創る」事業として、市内10地区の特性を活かし、住民が主体となった地域振興や地域コミュニティ活動の活性化を目的とした「ここに地域づくり基金」の創設、「まちの楽しさを創る」事業として、多くの人が集い、若者が交流できるまちにするため、いつでも誰でもチャレンジできる環境を整えることを目的とした「わくわくクラウドファンディング応援事業、ちよいちやれ応援事業」の2つが重点事業として挙げられる。

議 市内の中心と言えば、市役所庁舎、ショッピングセンターのサンプラザではないかと思う。この一帯に人を呼び込むべき。まずは、中央公園のリニューアル、そして庁舎、市民会館、教育会館、ゆめおれ勝山、図書館を一体的に再開発できないものか。若手職員プロジェクトチームの斬新で夢のある勝山像を描いてほしい。

理 中央公園を市民のための公園、特に市内の子どもたちがわくわくする楽しい公園としての再整備を目指し、国の交付金活用を視野に入れ、令和4年度中の事業計画策定に向けて、子育て世代の方々と協議し、議会に諮りながら進めていきたい。

また、市民会館など市役所周辺施設は、令和4年度当初予算でファシリテイーマネジメント（公共施設の最適化）業務委託費を計上し、市役所周辺施設の利用の適正化について検討し、基本計画を作成する予定である。

若手職員の意見を積極的に取り入れ、市民が集い、賑わいのあるエリアを目指したい。

市議会

近藤栄紀
議員



○ 第6次勝山市総合計画について ○ 中学校再編計画について

その他の質問

- ・新型コロナウイルス感染対策について
- ・行財政改革について
- ・新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金を活用した経済対策について

議 高齢化が進む中、将来にわたって高齢者が安全安心で楽しく暮らしていけるために、今後10年、20年先、地域の公共交通体系をどのように構築していくのか。

理 第6次勝山市総合計画では、政策目標を「安全で快適な生活環境が維持された住みやすいまち」として定め、鉄道、路線バスを効率的に接続し、市内外の人が移動しやすい地域公共交通体系を構築するとともに、高齢者の運転免許自主返納を推進し交通事故の抑制に取り組む方針としている。

今後の取り組みは、令和4年度に希望地区を募り、自家用有償旅客運送の実証実験を行うとともに、現在策定中の「勝山市地域公共交通計画」では、令和6年度以降を目標に乗車希望場所から降車希望場所までを直接つなぐデマンド交通の導入を予定している。

議 中学校の統合、高校との併設は賛成であるが、体育館・グラウンド等の高校との共有、ジオアリーナ間の地下通路、スクールバスの問題に抵抗を感じると市民は言う。

今後、早急に検討し、説明・理解してもらう必要があると思うが、市の考えを伺う。

理 体育館・グラウンドの共用について、具体的な使用例も示しながら説明してきているところだが、今後は専門部会で詳細に検討し、その状況を適切な方法で議会や市民に情報提供し、ご理解いただけるよう努めていきたい。

また、地下通路については、令和4年度に事前調査を実施し、設計へ向けた整備方針等を考えていく。照明は極力明るくし、内面の美観を考慮するなど生徒が安心して通れる構造や仕様にしていきたい。

スクールバスは、3中学校を統合することによって生じる課題で、発着場をジオアリーナにする提案をしたい。今後、通学に必要な地域や保護者等の意見を十分に聞き、また専門部会でも協議しながら、安全で使いやすい運営・運行システムを目指していきたい。

日本共産党

山田安信
議員



○ 中学校を勝山高校の敷地内には建設しないことについて

その他の質問

- ・ロシアによるウクライナ侵略を断固糾弾し、核兵器による威嚇を許さないことについて
- ・過疎地域や特別豪雪地帯などの制度を活用し、勝山市を持続的に発展させる取組みについて
- ・勝山ニューホテルの譲渡のように、見直すべきは徹底的に見直すことについて

議 市民署名は、中学校を1校・2校・当面3校と意見は違うが、「勝高敷地に建設は最悪の選択」の一致点で協力している。

教員と市・県・国職員のOB、薬剤師や会社員、自営業者など幅広い市民が参加している。また、市民が自己判断で自発的に行動し、区長会などの団体に頼らず、肩書も使わないで取り組んでいる。

2月11日の新聞に署名用紙を折り込み、わずか12日後の市民集会で有権者の約2割、3400筆も集まり、驚く勢いである。

この市民署名と市民の声を、市長はどう受け止めているのか。これを無視して強行するのか。

理 今回の署名は、市議会議長宛ての陳情書とともに提出されたもので、今定例会の委員会においてしかるべく審査されるものと考えている。

議 梅田教育長は、「県内の連携型でうまくいっていないのは高校と中学校が離れているからで、くっつけばうまくいく。」と説明するが、秋田市立御所野学院は、中高が

同じ敷地内の「連携型」なのに、連携高校への進学が激減し、検討委員会が「中高連携の中止、高校の廃止」を答申した。この事実をご存知か。

理 その事実は承知していない。その辺については、しっかりと検討、研究したい。こういう状況に至った経緯を委員会までに調査し、その時点で私どもの考え方を申し上げたい。

議 勝山市の計画がこの通りになるとは言わないが、こういう結果を招いたら子供たちが大変な目にあう。内部で簡単に調べて見解を示して済ませるレベルの話ではない。

勝山高校にくっつけることが中学校と勝山高校のために良いのか、専門家も入れて抜本的な検討が必要だと厳しく指摘しておく。



○第8次勝山市老人福祉計画・介護保険事業計画について

※ジェロントロジー：老年学

丸山忠男
議員



議 令和3年4月1日現在、勝山市の高齢化率は36.9%で、国や県内の自治体と比較しても高齢化が進んでいる。また、要支援・要介護認定率は17.7%であり、高齢者の5〜6人のうち1人が何らかの支援が必要な状態になっている。

高齢者が安心して暮らしていけるためにも、介護予防の取り組みや要介護状態になっても安心して地域に暮らせる体制の整備が必要となっているが、次の点について伺う。

①介護保険サービスの現在の整備状況並びに介護人材の確保について

②要支援・要介護状態になることを予防し、高齢者の健康づくり、生きがいづくりを推進するためのフレイル（加齢により心身が老い衰える状態）予防の取り組み状況について

理 ①介護保険サービスについて、第8次勝山市老人福祉計画・介護保険事業計画に基づき、令和3年4月に有料老人ホームの8床が介護保険の対象となる特定施設入居者生活介護に移行された。8月は、いわゆるグループホームを活用して行うデイサービスである共用型認知症対応型通所介護が定員2名で新設され、また勝山南部地区にグループホームを1か所選定し、来年度中に整備される予定。

介護人材の確保については、本年度に初めて開催された介護初任者研修の開催を引き続き県に要望していくとともに、特定技能外国人の受け入れ支援を行う予定。

②県が東京大学と進めている※ジェロントロジー共同研究事業の一環として、東京大学が考案したフレイルチェックを活用し、高齢者自身が自分のフレイル状態を把握し、自発的に健康づくりに関心をもつことを推進している。

本年度は2か所でフレイルチェックを実施し、フレイル予防に関する運動や口腔、栄養の講座を行った。

来年度、健康長寿課と生涯学習・スポーツ課が合併するメリットを最大限に生かせる分野が、このフレイル予防、運動と健康づくりについて庁内全体で考えていく。

○トラック業界等運送業者への燃料高騰による支援について ○県の子ども・子育て支援策について

その他の質問

・福井県立大学恐竜学部勝山キャンパスについて ・小児(5歳~11歳)のコロナワクチン接種について ・令和4年勝山市成人式について

安岡孝一
議員



議 現下の燃料高騰は、普段からコスト削減に取り組んでいるにも関わらず、これ以上は自社努力では厳しい状況が続いている。

政府の経済対策では、自治体が行う原油高騰対策に新型コロナウイルス対応の「地方創生臨時交付金を活用することも可能」と明記され、生活困窮者の灯油購入費や漁業者の燃油高騰分の助成などの支援策には、特別交付税措置も講じて地域の実情に合わせた対策を後押しするとある。

原油高騰の影響を受けやすいトラック業者等の運送業者の経営安定策を市として講じることができないか。

理 原油価格の高騰は、様々な業種に影響を与えていて、特に運送業については影響が大きくなっている。

政府が3月10日から燃料油元売りへの補助金上限額を25円に引き上げると聞いているので、この効果を見極めながら、商工会議所と協力して実態把握に努め、具体的な支援策を検討していく。

議 県は2022年度当初予算で、子ども・子育て支援策を強化し、前年度の20億円から倍増の40億円にアップした。勝山の子育て日本一を後押しすることにもなり、大変ありがたい。

勝山でも若い母親から要望が多かった、雨や雪の日でも遊べる屋内遊び場の建設に対し、県は各市町に上限1億円を支援し、2026年度までに全17市町に整備したい考えである。

市民からできれば早くしてほしいとの意見が多いが、市はどのように考えているか。

理 屋内遊び場の整備については、これまでも市内中心部への設置を望む意見を多くいただいていた。

現時点では、実施時期や場所など詳細は未定だが、令和4年度の早い時期に子育て世代の保護者の意見をいただく機会を設け、1日でも早く屋内の遊び場が整備できるよう取り組んでいく。

○ 新型コロナウイルス感染症濃厚接触者に対する休業支援について
○ 食品ロス対策のお持ち帰り専用容器について

その他の質問

・全天候型遊び場整備について ・リモートワーク者のためのサテライトオフィスについて ・レジ袋を市の指定袋として作成することについて



下道恵子 議員
市政会

議 新型コロナウイルスのオミクロン株の感染が、市内でも小・中学校で増えている。子どもの感染で保護者が濃厚接触者と判定された場合、7日間の自宅待機が求められるが、そんな場合に市職員にはどんな休業支援があるのか。

理 市職員本人が検査陽性者、濃厚接触者となった場合や同居家族、同じ職場の職員等が濃厚接触者となった場合、発熱等の風邪症状が見られる場合で勤務しないことがやむを得ない場合、小中学校等の臨時休業等で子の世話をを行うために勤務しないことがやむを得ない場合については、特別休暇として取り扱っている。

議 まだ食べられる食料を大量に廃棄したりする「食品ロス」の削減は、ごみの焼却を減らすことにつながる。普段から必要な分だけ買って食べきれないことや、外食した際には残り物をパックに詰めて持って帰ることも効果がある。

理 食品の持ち帰りには、調理する飲食店側で持ち帰り可能な食品を指定する必要があるが、明確な基準がなく、個々の飲食店の判断に委ねられている実情や持ち帰った食品による食中毒が発生した場合の責任など、いくつか課題がある。そのため、当面は利用者や飲食店の双方がそれらの点を理解したうえで行っていただきたい。

議 飲食店にはハーフサイズの設定や注文時に量を確認するなど、市民には食べきれない範囲での注文を徹底していただくようお願いしていく。

○ 中学校の再編問題について
○ 中央公園の有効活用について

その他の質問

・勝山ニューホテルの譲渡について



高間清一 議員
市民の会

議 3つの中学校を1つに統合し、勝山高校の敷地内に新しく建設する。当初の計画の5階建てから3階建てに変更したことによって、高校と併用しなければならぬ教育施設や特別教室、また体育館やグラウンドの併用など高校生の利用が制約されることはないのか。

理 建設費については、校舎本体と渡り廊下や駐車場・駐輪場などの整備もあり、今後具体的な構造や仕様などを決める基本計画から基本設計の段階で概算をお示しすることになる。基本計画を定めるまでの過程において、市議会とも十分にご相談しながら進めることとする。

議 3つの中学校を1つに統合し、勝山高校の敷地内に新しく建設する。当初の計画の5階建てから3階建てに変更したことによって、高校と併用しなければならぬ教育施設や特別教室、また体育館やグラウンドの併用など高校生の利用が制約されることはないのか。

理 建設費については、校舎本体と渡り廊下や駐車場・駐輪場などの整備もあり、今後具体的な構造や仕様などを決める基本計画から基本設計の段階で概算をお示しすることになる。基本計画を定めるまでの過程において、市議会とも十分にご相談しながら進めることとする。

議 3つの中学校を1つに統合し、勝山高校の敷地内に新しく建設する。当初の計画の5階建てから3階建てに変更したことによって、高校と併用しなければならぬ教育施設や特別教室、また体育館やグラウンドの併用など高校生の利用が制約されることはないのか。

理 建設費については、校舎本体と渡り廊下や駐車場・駐輪場などの整備もあり、今後具体的な構造や仕様などを決める基本計画から基本設計の段階で概算をお示しすることになる。基本計画を定めるまでの過程において、市議会とも十分にご相談しながら進めることとする。

議 3つの中学校を1つに統合し、勝山高校の敷地内に新しく建設する。当初の計画の5階建てから3階建てに変更したことによって、高校と併用しなければならぬ教育施設や特別教室、また体育館やグラウンドの併用など高校生の利用が制約されることはないのか。

理 建設費については、校舎本体と渡り廊下や駐車場・駐輪場などの整備もあり、今後具体的な構造や仕様などを決める基本計画から基本設計の段階で概算をお示しすることになる。基本計画を定めるまでの過程において、市議会とも十分にご相談しながら進めることとする。

○新中学校編成案の独自の体育館とグラウンドの設置について

富土根信子
議員
市民の会



【議】 新中学校が勝山市内での唯一の中学校として、新中学校の教育環境、教員の職場環境が優先事項であり、独自の体育館とグラウンドを設置すべきと考えるが、次の点について伺う。

①地下通路は施設設備設計の中の安全性、機能性、快適性、耐用性、長期的活用、防犯責任者、さらに移動時間、障害のある生徒の利用等について

②体育館の共用による器具等備品、管理者、管理場所について

③部活動を充実する活動場所が高校との併用であることや移動や交代で使うことについて

④勝山高校の入学者増、でさなかつた授業補充に対する教育課程の編成について

【理】 ①地下通路については、令和4年度に事前調査を実施し、今後、専門的見地から安全性、機能性、快適性、耐久性等について検討していく。

勝山市が設置するので管理責任者は市になると思う。議会の意見もお聞きし、長く安心して利用できる地下通路の整備に努めたい。

②備品は中高別々の物や共有する物もあり、管理方法については、今後双方で協議していく。管理場所については中高で十分話し合い、できるだけ使いやすいようにしていきたい。

③現在も中学校や高校では、雨天の日は外の部活動ができず、校舎内のスペースを利用して練習メニューを工夫して活動している。冬季になると部活動全体で体育館の割り当てを考え、外の部活動も体育館で練習ができる日を設けるなどしている。このように双方で話し合いをし、ジオアリーナなども含めて十分活動できるようにしていきたい。

④勝山高校の体育館は、1000人近くの生徒が在籍していたときの広さと変わっており、今後人数が増えることがあっても対応できると考える。

体育の授業では、中学校は3クラスを同時に行うように組むことで、ジオアリーナを使う必要はなくなる。

学校行事等で体育館が使用できない場合はジオアリーナを利用することになるが、日時の調整により、中学校全体の教育課程を編成していきたい。

○学生に魅力ある街づくりについて ○サテライトオフィス誘致について

下牧一郎
議員
新風会・公明



【議】 勝山キャンパスに通学する学生向けの住居を早急に整備する必要があると思うが、市長の見解を伺う。

また、空き家をリニューアールしたりビレッジハウス鹿谷を利用する方法もあると思うが、市長の見解を伺う。

【理】 民間アパートの誘致促進や空き家等の改修・整備など、市内の住環境の整備について大学の開設時期を念頭に進めていく。市内のアパートやシェアハウス等を借りる際の助成については、実施する必要があると考えている。

空き家のリニューアルしたうえでの利活用については、すでに各地で実績があり、市内に多数ある空き家を改修して学生向きのシェアハウスに改修するための助成のあり方について検討していく。

雇用促進住宅時代からビレッジハウス鹿谷の4、5階部分は、年配の方には不評で、ニーズに合わせて改修しながら供給していると聞いたことがあるので、運営会社に確認したい。会社側との情報共有により、民間主導での対応が望ましいと考えている。

【議】 恐竜との親和性が強いCG制作会社やアニメ制作会社のサテライトオフィス誘致を積極的に推進すべきだと思うが、市長の見解を伺う。

【理】 サテライトオフィスへの有効活用は、空き家問題やリモートワークの普及、働き方改革の推進に大変有効な活用施策であると考えている。

サテライトオフィスの誘致に対する補助制度だけでは誘致は難しいと認識しており、議員ご提案の恐竜に関連する業種など、勝山市ならではの業種や規模など狙いを明確にすることで、企業の目に留まるような話題になる施策を打ち出し、攻めの姿勢で積極的に取り組んでいく。



新風会・公明
松山信裕
議員



○ 組織改革について
○ まちづくりについて

その他の質問

・文化財保存活用地域計画について ・障害者雇用環境について

議 ①今回実施する組織機構改革は、過去に例のない大規模な見直しが行われ、現在の18課5局1本部から12課5局1本部に再編し、課の統合を図ること。このたびの機構改革は、どのような趣旨に基づいて行われたのか。

理 ②新規採用職員や若手職員がその職場になじんでいけるように支援している制度である。チューター制度を導入してはどうか。

理 ①市長部局と教育委員会部局を横断した行政組織機構の改編により、生涯学習と地域づくり、文化財の観光活用などを市長部局内で一本化することで、シンプルで効率的な組織体制へ移行し、事業実施や意思決定の効率化を目的としている。

理 ②現在は、新採用職員の育成のために同じ職場の中堅職員を1名、育成指導者として選出し、市職員としての基礎知識を学ばせているが、チューターと銘打って心の支えとして常に頼ることのできる育成指導者を配置し、普段から気軽に質問や相談できる体制を構築していく。

議 ①これからも地域をよくしたいという熱い思いをジオパークに込めて各遺産の魅力のブラッシュアップを図り、持続可能な地域の発展につながる活動を展開していかねばいけない。

理 今後のジオパークの推進について、市はどのように考えているのか。

理 ②地域づくりとジオパークを進めるために新たな施策を構築していかねばならない。そのためにも助成事業を充実していかなければならぬ。どのような助成事業をどのように進めるのか。

理 ①市内小中学校や市民へのジオパーク学習の取り組みを、高校にも広げていきたい。また、商工文化課として日本遺産や文化財の保護・保全事業とツーリズムといった観光誘客事業とを一体的に取り組んでいく。

理 ②従前からの恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク魅力活用事業の他に、新たに創設する「ここの地域づくり基金」や「わくわくクラウドファンディングイベント応援事業」、「ちょいチャレ応援事業」を活用して取り組んでいただきたい。

新風会・公明
吉田清隆
議員



○ 市営住宅のエレベーター設置について
○ 県立大学新学部開設に伴う勝山市の対応について

その他の質問

・航空写真の活用状況について

議 勝山市営住宅には鉄筋コンクリート造りの建物は何棟もあり、市営住宅1棟には3か所の階段がある。そのうち1か所にエレベーターを設置して高齢者や障害者を優先的に入居できるようにできないか。設置方法にもよるが、1か所あたり数千円かかると思う。

理 階段室型市営住宅1棟の3か所の階段のうち1か所にエレベーターを設置すると、1か所あたり4000〜5000万円の事業費を想定する。後付け設置にはスペースの問題、設置したことによる家賃への反映、電気代の入居者の負担など様々な課題がある。

理 1階部へ的高齢者の単身世帯の入居ニーズが高いことから、今後の市営住宅の整備方針は、多人数世帯を見込んで計画した3DKを分割して1DKの住戸を2戸とし、1階の入居者数を増やすことで、高齢者世帯に対応した居住環境の整備を進めていく。

また、市営住宅に申し込まれる方のほとんどが60歳以上で、高齢者の優先的入居の判断は困難な状況である。

議 福井県は、今年2月10日に2025年4月に県立大学恐竜学部（仮称）を県立恐竜博物館の隣接地に学部棟を整備すると発表した。入学定員は30人を予定し、2年生の2026年から勝山キャンパスでの受講としているので、2028年度に学生数は90名となり、勝山に住んでくれる学生も多くなることが期待される。

また、県は就職先として、「政策立案・教育・研究分野」「デジタル関連分野」「観光関連分野」「地質関連分野」の4分野を想定している。

勝山市の県立大学恐竜学部（仮称）の受け入れ態勢について伺う。

理 令和4年度中に学生受け入れのためのハードとソフトの両面の環境整備の方向性を固める必要がある。また、県立大学恐竜学部卒業生の就職先として想定している業種の中には、ジオパークや自然関連の観光事業など、勝山市のフィールド活用が期待できる分野が含まれている。既存の観光事業者との連携やワーキングスペースの設置などを検討していく。

○ 勝山市の市民性について

新風会・公明
松本聖司郎
議員



その他の質問

・ゼロカーボンシティ実現に向けて

【議】 私が勝山市でこれまで20年以上活動している中で見えてきている勝山市の市民性について、日本各地でも問題とされている「次世代軽視」が特に問題になっていると判断せざるを得ない。傍目から見ると悪いという現状がいまだにある中、昨年の地域おこし協力隊の報告会で次のようなことがあった。

【隊員】 隊員たちが行う新しく時代にあった取り組みに対して調べるも把握もせず、自分の知らないことだからという理由だけで「下らんことやめろ。まちの金使って何遊んでるんや。」といった書き込みをしてくる人がいるということが発表された。

【松本】 正式な手順を踏んだ上で行っているプレイヤー側としては、士気の大いに下がる行為だ。私も街のイベントとして同様の経験をしているが、人の多く集まった公の場である報告会で、隊員から「やめてくれ。」と訴えざるを得ない程、街にそういった

反応をしてくる人がいることを証明した出来事だった。

【松本】 あれから1年が経ち、恐竜学部設置、PONSAPONによる勝山市に來られる方、住まわれる方が今後増えることが見込まれた今、この「閉鎖的な市民性」から来る各種問題に対し、どのような対策を行っていくのか尋ねる。

【理】 人口減少・少子高齢化が進む中、地域の活力を維持するために、令和4年度からスタートする第6次勝山市総合計画では、年齢や性別等にとられない多くの人が関わることを基本的な考え方とし、住民が主体となったまちづくりを進めるため、「地域の未来を創る」「まちの楽しさを創る」の2つの「創る」を政策の柱の1つとして掲げている。

【松本】 本計画で推進するまちづくりの考え方を広く市民に浸透することで、全ての人がお互いを尊重し、支え合いながら地域で活躍できるひとつづくりに取り組んでいく。

○ ロシアのウクライナ侵攻について ○ 中学校再編計画案について

日本共産党
久保幸治
議員



その他の質問

・勝山市キッチンカー導入支援事業について
・新型コロナウイルスの陽性者の療養について

【議】 戦争のニュースに、市民のみならず世界中の人が心を痛めている。戦争で傷つくのは、その国で平和に暮らしてしていた市民や国民である。この不条理に対し、国や文化の違いを超えて、人間としてどうあるべきか、何ができるか、考える必要がある。

【松本】 平成2年9月議会では、全ての国の核兵器の廃絶を求め、世界の恒久平和を実現するため、非核平和都市宣言を決議した。世界に発信した市長のメッセージのように、平和な世界が行政の前提なら、国連主導の核兵器禁止条約への加盟を国に提唱することに異論はないはず。

【久保】 市の見解を伺う。ロシアのウクライナへの侵攻は、国会の衆参両院において、ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議案が採択され、この決議では「軍による侵略を最も強い言葉で非難する」と表明し、「力による一方的な現状変更は断じて認められない」と強調している。多くの民間人が犠牲となった今回のロシアの行動は、決して許されるものではないと考える。

【議】 署名など市民運動になりつつある中学校再編計画の根本的な問題点として、計画の情報を広く市民に公開し、市民の声を拾わなかった点に尽きる。

【松本】 そこで、今回の中学校再編・勝高併設の計画は、現在でも市民は十分に理解し、コンセンサスを取られているとの認識か。

【久保】 また、なぜ再編計画に関し、市民への情報の開示、市民からの声を聴く道具として市の広報などの紙ベースによるアンケートやパブリックコメントの募集をしなかったのか。

【松本】 市民の関心の度合も異なり、限なく浸透して十分な理解を得ることは難しい面もあるが、様々なツールを活用して市民への情報提供に努めてきた。パブリックコメントの募集も含め、意見聴取にも手紙やハガキでも可能とお知らせを常に事前に行い、できるだけ多くの意見をいただけるよう努めている。

○ 行政の電子化の推進について

その他の質問

・消防機材の更新について ・PHEV車の導入に関して

議 新年度予算に計上された、住民票のコンビニ交付、遠隔会議用ライセンス料、システム構築費などの申請、交付、リモート、システム構築等に関するデジタル化・DX推進施策の内容を伺う。

理 現行の電子申請は、申請とは別途、手数料の支払い手続きが必要になるなど課題があり、普及していなかった。しかし、令和4年度末に福井県の電子申請システムの更改が予定されており、その更改時に決済機能も用意される見込みで、市民が利用しやすい内容になるよう検討を重ね、子育て・介護にかかる手続きを大幅に増やしていきたい。マイナンバーカードについては、令和4年2月20日現在、当市の普及率は51.31%で、利活用については、住民票等のコンビニ交付、市役所窓口での書かない申請や電子申請での本人確認など、今後、その利便性は向上していくと考えている。そこで、取得率の低い世代に対しても積極的な普及促進を進め、有効期限や更新手続きなどの周知徹底を図っていく。

Zoom等の利用について

は、有償アカウントを取得し、さらなる利便性と能率を高めていく。各地区のまちづくり会館等とつなぎ、オンラインでの相談体制の構築などに活用していく。

システム構築については、次年度に予定の学校へのファイルサーバー導入は、従来方式の市役所本庁舎内にサーバーを設置する。それにより運用面での教職員の負担軽減と新たにクラウド方式のネットワーク構築を行わないことによる経費削減が図られる。しかし、総務省が進める地方公共団体の情報システムの標準化は、クラウドによる利用が前提となっている。次のシステム更新では、市全体のクラウドシステムへの移行を考えていく。

また、今冬は市内の消雪設備を中心に24台の道路監視カメラを設置し、消雪設備の常時監視する遠方監視装置システムと併せて運用している。この監視カメラを既設の3台の水路監視カメラと併せて水位監視カメラとして運用し、その映像を公開するシステムを構築し、水害被害の未然防止につなげる。



市議会

帰山 寿憲 議員

○ 新型コロナ対応についての確認と指摘

QRコード①: ニューヨーク州保健局 ワクチン有効率 (VE) は9Pのグラフ参照

QRコード②: CDC(アメリカ疾病予防管理センター)ファイザー製ワクチン接種後に報告された小児の副反応(ページ下部TABLE3(表3))

QRコード③: ファイザー社コミナティ筋注5~11歳用に係る医薬品リスク管理計画書8P、9Pを参照

議 5~11歳における2回接種後7日以降の発症予防効果は90.7%と試算されている。しかし、先進事例である

ニューヨーク州保健局の資料では、ワクチン接種から13日時点では有効率は65%、34日時点では12%にまで有効率が低下している。このような先進事例を周知すべきだ。※QRコード①

理 新型コロナウィルスワクチンに関しては、国や県など公的機関による信憑性のある情報をできるだけ分かりやすく市民に伝えることが重要と考えている。議員が提示された資料については、専門機関で十分精査された情報であるかは確認できない。今後、厚生労働省から正式に公表された場合には、市民に周知することも検討する。

議 また、行政が配布している接種後の副反応をまとめた資料では、頭痛、腫れ、筋肉痛、寒気、下痢、発熱などの比較的軽い症状しか記載しておらず、日常生活に支障、学校に登校できない等の重い症状は記載されていない。このようなやり方を続ければ信頼を失う。誠実な情報提供に努

める必要がある。※QRコード②

議 ファイザー社は、コミナティ筋注5~11歳用に係る医薬品リスク管理計画書の中で、新型コロナワクチン接種済み者は新型コロナに罹患した際に重症化する可能性があるとして示唆しているが、これは新型コロナワクチン接種の案内には記載されているのか。※QRコード③

理 勝山市が送付したワクチン接種の案内には記載されていないが、こうした情報は製薬会社で作成した医療従事者向け資料には記載されている。



QRコード③



QRコード②



QRコード①

1月臨時会審議結果一覧

★ 議員提出議案
 ■ 表決を行ったもの

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第62号	令和3年度勝山市一般会計補正予算(第6号)	予 算	可 決

定例会審議結果一覧

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第63号	令和4年度 勝山市一般会計予算	予 算	可 決
★	議案第63号 令和4年度勝山市一般会計予算 修正案	-	否 決
議案第64号	令和4年度 勝山市国民健康保険特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第65号	令和4年度 勝山市後期高齢者医療特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第66号	令和4年度 勝山市介護保険特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第67号	令和4年度 勝山市育英資金特別会計予算	総務文教厚生	可 決
議案第68号	令和4年度 勝山市下水道事業特別会計予算	建設産業	可 決
議案第69号	令和4年度 勝山市農業集落排水事業特別会計予算	建設産業	可 決
議案第70号	令和4年度 勝山市水道事業会計予算	建設産業	可 決
議案第71号	令和4年度 勝山市市有林造成事業特別会計予算	建設産業	可 決
議案第72号	令和3年度 勝山市一般会計補正予算(第7号)	予 算	可 決
議案第73号	令和3年度 勝山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	総務文教厚生	可 決
議案第74号	令和3年度 勝山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	総務文教厚生	可 決
議案第75号	令和3年度 勝山市介護保険特別会計補正予算(第3号)	総務文教厚生	可 決
議案第76号	令和3年度 勝山市育英資金特別会計補正予算(第1号)	総務文教厚生	可 決
議案第77号	令和3年度 勝山市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	建設産業	可 決
議案第78号	令和3年度 勝山市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	建設産業	可 決
議案第79号	令和3年度 勝山市水道事業会計補正予算(第3号)	建設産業	可 決
議案第80号	令和3年度 勝山市市有林造成事業特別会計補正予算(第2号)	建設産業	可 決
議案第81号	第6次勝山市総合計画の策定について	総合計画特別	可 決
議案第82号	勝山市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第83号	勝山市職員の給与に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第84号	勝山市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第85号	勝山市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第86号	勝山市附属機関の設置に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第87号	勝山まちづくり会館の設置及び管理に関する条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第88号	猪野瀬まちづくり会館の設置及び管理に関する条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第89号	平泉寺まちづくり会館の設置及び管理に関する条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第90号	村岡まちづくり会館の設置及び管理に関する条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第91号	荒土まちづくり会館の設置及び管理に関する条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第92号	北郷まちづくり会館の設置及び管理に関する条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第93号	鹿谷まちづくり会館の設置及び管理に関する条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第94号	遅羽まちづくり会館の設置及び管理に関する条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第95号	にこにこ地域づくり基金条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第96号	勝山市税条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第97号	第4次勝山市地域福祉計画の策定について	総務文教厚生	可 決
議案第98号	勝山市ホームヘルパー派遣手数料条例の廃止について	総務文教厚生	可 決
議案第99号	勝山市福祉健康センター「すこやか」の設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第100号	勝山市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第101号	勝山市育英基金条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第102号	勝山市教育会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第103号	損害賠償の和解について	総務文教厚生	可 決
議案第104号	勝山市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第105号	勝山市民会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第106号	勝山市生涯学習センター「友楽喜」の設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第107号	勝山市視聴覚ライブラリー設置条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第108号	白山平泉寺歴史探遊館まほろばの設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第109号	北郷の庄屋屋敷 重要文化財旧木下家住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第110号	勝山市地区計画等の案の作成手続に関する条例の制定について	建設産業	可 決
議案第111号	勝山市土地開発基金条例の一部改正について	建設産業	可 決
議案第112号	債権の放棄について	建設産業	可 決
議案第113号	損害賠償の額を定めることについて	建設産業	可 決
議案第114号	勝山市水道水源保護条例の一部改正について	建設産業	可 決
議案第115号	勝山市滞在型コンベンション施設「勝山ニューホテル」の設置及び管理に関する条例の廃止について	建設産業	可 決
議案第116号	財産の処分について	建設産業	可 決
議案第117号	解約金の額を定めることについて	建設産業	可 決
議案第118号	勝山市企業振興条例の一部改正について	建設産業	可 決
議案第119号	勝山市道の駅「恐竜渓谷かつやま」の設置及び管理に関する条例の一部改正について	建設産業	可 決
議案第120号	はたや記念館「ゆめおーれ勝山」の設置及び管理に関する条例の一部改正について	建設産業	可 決
議案第121号	恐竜のまち構想基金条例の廃止について	建設産業	可 決
議案第122号	勝山市原山地域振興基金条例の廃止について	建設産業	可 決
議案第123号	勝山市市民交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	建設産業	可 決
議案第124号	勝山市立北谷町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	建設産業	可 決
議案第125号	勝山市立野向町コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について	建設産業	可 決
議案第126号	損害賠償の額を定めることについて	総務文教厚生	可 決
議案第127号	大蓮寺バイパス幹線整備工事請負契約の変更について	建設産業	可 決
議案第128号	勝山市立中学校再編準備委員会条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第129号	勝山市教育委員会教育長の任命について	—	同 意
★議案第130号	勝山市議会委員会条例の一部改正について	—	可 決
★意見書案第6号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書	—	可 決
★意見書案第7号	中華人民共和国による人権侵害問題に対する意見書	—	可 決
★決議案第1号	ロシア連邦によるウクライナ軍事侵攻に断固抗議する決議	—	可 決

◆ 請願・陳情

受理番号	要 旨	付託委員会	議決結果
陳 情 第 6 号	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について	建設産業	採 択
陳 情 第 7 号	北陸新幹線が大阪へ延伸するまで、特急「サンダーバード」「しらさぎ」をJR西日本・JR東海の運営・運行で現行のまま存続させることを求める陳情	総務文教厚生	不 採 択
陳 情 第 8 号	中学校を勝山高校敷地内に建設することに反対する陳情書	予 算	不 採 択
陳 情 第 9 号	「水田活用の直接支払い交付金」の見直しの中止を求める陳情	建設産業	不 採 択
陳 情 第 10号	インボイス（適格請求書）制度の中止を求める陳情	総務文教厚生	不 採 択

◆ 表決結果

※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

議 案 番 号	総投票数	投票数		松本聖司郎	中山光平	安岡孝一	富士根信子	高間清一	久保幸治	竹内和順	吉田清隆	下牧一郎	近藤栄紀	下道恵子	丸山忠男	松山信裕	帰山寿憲	山田安信	乾章俊
		賛成票	反対票																
陳 情 第 8 号	15	5	10	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議長
議案第63号修正案	15	5	10	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議長
議 案 第 6 3 号	15	10	5	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議 案 第 6 4 号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議 案 第 8 2 号	15	12	3	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議 案 第 8 3 号	15	12	3	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議 案 第 8 4 号	15	12	3	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議 案 第 9 5 号	15	13	2	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議 案 第 1 2 8 号	15	12	3	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
陳 情 第 7 号	15	4	11	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議長
陳 情 第 1 0 号	15	3	12	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議長
陳 情 第 9 号	15	3	12	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	議長

○=賛成、×=反対、不=不在、議長=議長職（通常は採決に加わらない）



新しい消防ポンプ車が入りました!

3月、平成元年に配置された梯子車の入れ替いで、13m屈折ブーム&バスケット付き多目的消防ポンプ車(CD-2型)が設置されました。費用は約8,750万円。

この車には、火災現場で消火や救助をする際に必要不可欠な資機材が収納されています。屈折ブーム(高所作業用クレーン)の先にはバスケットがあり、それに乗った消防隊員はビル4階位の高さまで消火や救助が可能で、最大作業半径約8.4mまで放水することができます。



車体に描かれた恐竜がとても頼もしく見えます。もしもの火災時には活躍してくれるに違いありません。

受賞おめでとうございます



松山信裕議員(写真中)が正副議長を4年以上、丸山忠男議員(同左)、下道恵子議員が在職10年以上務められたことから、福井県市議会議長会より表彰されました。

6月定例会一般質問予定日

6/13(月)・14(火)
両日とも 午前10時～



←詳細はこちら

編集後記

令和4年度の予算も決まり、コロナ禍においても、新しい勝山に向けて行政も頑張っています。広報委員会はそんな議会や行政の姿をより皆様にお届けすべく努力していきます。(久保 幸治 記)

議会日誌

- | | |
|---|--|
| 1月28日(金) 議会運営委員会、1月臨時会本会議、予算委員会、全員協議会、総務文教厚生委員会 | 17日(木) 総務文教厚生委員会、建設産業委員会、予算委員会 |
| 2月14日(月) 議会広報特別委員会 | 18日(金) 予算委員会 |
| 17日(木) 福井県後期高齢者医療広域連合議会 | 20日(日) 成人式 |
| 18日(金) 議会改革特別委員会 | 22日(火) 議会改革特別委員会、議会運営委員会、総合計画特別委員会、議会広報特別委員会 |
| 21日(月) 総務文教厚生委員会、全員協議会 | 24日(木) 総務文教厚生委員会、建設産業委員会、議会運営委員会、全員協議会、本会議 |
| 3月 1日(火) 本会議、全員協議会 | 28日(月) 勝山・永平寺衛生管理組合議会 |
| 8日(火) 本会議(代表・一般質問)、議会運営委員会 | 29日(火) 福井県後期高齢者医療広域連合議会 |
| 9日(水) 本会議(一般質問)、議会運営委員会、議会広報特別委員会 | 30日(水) 大野・勝山広域事務組合議会 |
| 10日(木) 予算委員会、総務文教厚生委員会、建設産業委員会、全員協議会、本会議 | 4月 1日(金) 野向町コミュニティセンター除幕式 |
| 11日(金) 総務文教厚生委員会 | 8日(金) 春の交通安全県民運動 |
| 14日(月) 建設産業委員会 | 11日(月) 議会広報特別委員会 |
| 15日(火) 予算委員会 | 13日(水) 春季消防訓練 |
| 16日(水) 予算委員会 | 18日(月) 議会広報特別委員会 |

《議会広報特別委員会》

委員長 下道恵子 副委員長 松本聖司郎 中山光平 富士根信子 久保幸治

発行：勝山市議会 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL 0779-88-8100(直通)

編集：議会広報特別委員会 <URLアドレス> <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

<Eメールアドレス> gikai@city.katsuyama.lg.jp



議会中継動画



Facebook